



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月2日

上場会社名 東洋鋼鈹株式会社 上場取引所 東・大  
 コード番号 5453 URL <http://www.toyokohan.co.jp>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 厚夫  
 問合せ先責任者(役職名) 常務執行役員 (氏名) 大谷 憲史 (TEL) 03-5211-6200  
 四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	87,159	△4.3	3,648	△47.0	3,776	△45.3	2,649	△39.1
23年3月期第3四半期	91,077	16.7	6,889	271.7	6,905	278.8	4,349	257.2

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 2,006百万円(△53.6%) 23年3月期第3四半期 4,320百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	26.30	—
23年3月期第3四半期	43.17	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	119,955	78,623	64.4
23年3月期	121,068	77,432	62.7

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 77,299百万円 23年3月期 75,917百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	4.00	—	4.00	8.00
24年3月期	—	4.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	4.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	114,900	△3.6	4,300	△39.6	4,400	△38.0	3,100	△10.3	30.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細は、【添付資料】3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、【添付資料】4ページ「2. サマリー情報（その他）」に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当します。詳細は、【添付資料】4ページ「2. サマリー情報（その他）」に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

24年3月期3Q	100,800,000株	23年3月期	100,800,000株
24年3月期3Q	45,426株	23年3月期	44,606株
24年3月期3Q	100,754,787株	23年3月期3Q	100,757,303株

#### ※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(参考)

平成24年3月期の個別業績予想（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	104,000	△2.4	3,200	△42.1	4,000	△33.9	3,100	3.5	30.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細は、【添付資料】3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」  
をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書 .....	7
四半期連結包括利益計算書 .....	8
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(4) セグメント情報 .....	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成23年4月1日～平成23年12月31日）におけるわが国経済は、東日本大震災以後、緩やかな持ち直しの動きが見られるものの、為替の影響や世界経済の減速など、依然として予断を許さない状況にあります。

鉄鋼業界は、震災の影響による落ち込みから回復しつつあるものの、過度な円高の進行により、極めて厳しい状況が続いています。

このような中で当社グループは、販売、技術開発、製造、間接の各部門が連携を強化し、収益目標の達成に鋭意取り組みました。

以上の結果、売上高は871億59百万円となり、営業利益は36億48百万円、経常利益は37億76百万円、四半期純利益は26億49百万円となりました。

## 第3四半期連結累計期間（平成23年4月1日～平成23年12月31日）

売上高	871億59百万円（前年同期比 4.3%減）
営業利益	36億48百万円（前年同期比 47.0%減）
経常利益	37億76百万円（前年同期比 45.3%減）
四半期純利益	26億49百万円（前年同期比 39.1%減）

第3四半期連結累計期間（平成23年4月1日～平成23年12月31日）における事業別の概況は次のとおりです。

## ① 鋼板関連事業

売上高	690億82百万円（前年同期比 6.9%減）
営業利益	15億24百万円（前年同期比 64.3%減）

## &lt;缶用材料&gt;

飲料缶材は、夏季の電力制限の影響等により第2四半期は前年を下回りましたが、第3四半期はコーヒー飲料が回復し、前年同期並みになりました。工業用缶材は、塗料・化学関連需要の低迷が続いており、前年同期を下回りました。

## &lt;その他の材料—電気・電子部品、電池材、自動車・産業機械部品、建築・家電向け&gt;

電気・電子部品向けは、電池材が第1四半期の一時的な仮需による需要増はありましたが、第2四半期以降は実需が低迷し、前年同期を下回りました。

自動車・産業機械部品向けは、自動車部品材料などが復調したものの、前年同期並みとなりました。

建築・家電向けは、冷蔵庫扉材がエコポイント制度終了の影響を受け、前年同期を下回りましたが、ユニットバスを含む内装材ならびに外装材は堅調に推移し、前年同期並みとなりました。

## ② 機能材料関連事業

売上高	134億52百万円（前年同期比 8.1%増）
営業利益	14億64百万円（前年同期比 15.5%減）

## &lt;磁気ディスク用アルミ基板&gt;

磁気ディスク用アルミ基板は、需要は堅調であったものの、円高やタイ洪水被害によるサプライチェーンの混乱で、前年同期を下回りました。

## &lt;光学用機能フィルム&gt;

光学用機能フィルムは、フラットパネルディスプレイ関連の市場において着実に浸透しつつも、市況低迷の影響で前年同期並みとなりました。

## ③ その他事業

売上高	63億92百万円（前年同期比 0.4%増）
営業利益	6億31百万円（前年同期比 27.5%減）

## &lt;梱包資材用帯鋼・機械器具・硬質合金&gt;

梱包資材用帯鋼は、需要が低迷し前年同期を下回りました。

コイル結束装置などの機械器具は、装置本体、部品とも前年同期を上回りました。

硬質合金は、プラスチック金型が前年同期を上回りましたが、主力の射出成形機部品の需要が低調に推移したため、全体としては前年同期を下回りました。

なお、各事業の売上高、営業利益は事業間の取引による金額を含んでおります。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

総資産は、前連結会計年度末に比べ11億12百万円減少して、1,199億55百万円となりました。このうち流動資産は現預金は減少したものの、たな卸資産等が増加したことにより、前連結会計年度末に比べ2億71百万円増加しました。固定資産は、有形固定資産が減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ13億84百万円減少しました。

負債は、未払法人税等の減少等により、前連結会計年度末に比べ23億4百万円減少して413億31百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ11億91百万円増加して786億23百万円となりました。これは利益剰余金が増加したこと等によるものであります。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

東日本大震災以降、わが国経済は一旦持ち直しの動きが見られたものの、欧米に加え新興国経済の停滞が懸念され、内外ともに厳しい状況が続いています。このような状況のなかで、当社グループは拡販を強化する一方、コスト削減をはじめ経営努力を重ね、収益確保に向けて鋭意取り組んでまいりました。しかしながら、売上に関しては震災やタイで発生した洪水の影響等による需要の後退を受け、利益に関しても販売数量減や過度な円高の影響により減少が見込まれるため、平成23年7月28日に公表いたしました通期連結業績予想および通期個別業績予想を修正いたします。

#### 平成24年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	121,200	6,000	6,200	4,100	40.69
今回発表予想 (B)	114,900	4,300	4,400	3,100	30.77
増減額 (B - A)	△6,300	△1,700	△1,800	△1,000	
増減率 (%)	△5.2	△28.3	△29.0	△24.4	
(ご参考) 前期実績 (平成23年3月期)	119,200	7,114	7,094	3,457	34.31

#### (参考)

#### 平成24年3月期通期個別業績予想数値の修正（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	109,100	4,500	5,200	3,600	35.73
今回発表予想 (B)	104,000	3,200	4,000	3,100	30.77
増減額 (B - A)	△5,100	△1,300	△1,200	△500	
増減率 (%)	△4.7	△28.9	△23.1	△13.9	
(ご参考) 前期実績 (平成23年3月期)	106,605	5,530	6,053	2,996	29.74

(注) 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであります。予想に内在するさまざまな不確定要因や今後の事業運営における内外の状況変化等により、実際の業績は予想数値と異なる場合があります。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

### （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

### （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### （有形固定資産の減価償却方法の変更）

国内連結子会社において、従来、一部の有形固定資産の減価償却方法について定率法を採用しておりましたが、第1四半期連結会計期間より定額法に変更しております。

この変更は、有形固定資産の使用状況等に鑑み、費用配分の適正化を図るものであります。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	14,628	12,638
受取手形及び売掛金	21,393	21,549
たな卸資産	26,554	28,252
その他	3,896	4,281
貸倒引当金	△382	△359
流動資産合計	66,090	66,362
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	16,245	15,603
機械装置及び運搬具（純額）	16,865	15,501
土地	11,943	11,943
建設仮勘定	768	1,779
その他（純額）	1,524	1,469
有形固定資産合計	47,347	46,297
無形固定資産		
投資その他の資産	615	533
投資有価証券	2,924	2,784
その他	4,100	3,989
貸倒引当金	△9	△12
投資その他の資産合計	7,015	6,761
固定資産合計	54,978	53,593
資産合計	121,068	119,955



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	11,214	12,885
短期借入金	15,986	15,880
1年内償還予定の社債	5,000	—
未払法人税等	2,008	104
役員賞与引当金	68	—
災害損失引当金	88	—
その他	6,541	4,850
流動負債合計	40,908	33,720
固定負債		
社債	—	5,000
退職給付引当金	1,053	1,186
役員退職慰労引当金	28	16
PCB対策引当金	529	529
その他	1,117	879
固定負債合計	2,728	7,611
負債合計	43,636	41,331
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,040	5,040
資本剰余金	6	6
利益剰余金	71,515	73,358
自己株式	△19	△19
株主資本合計	76,542	78,386
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	287	16
繰延ヘッジ損益	△10	△9
為替換算調整勘定	△902	△1,093
その他の包括利益累計額合計	△624	△1,086
少数株主持分	1,514	1,324
純資産合計	77,432	78,623
負債純資産合計	121,068	119,955

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	91,077	87,159
売上原価	76,446	75,492
売上総利益	14,631	11,667
販売費及び一般管理費	7,741	8,018
営業利益	6,889	3,648
営業外収益		
受取利息	45	41
受取配当金	131	123
その他	202	411
営業外収益合計	379	575
営業外費用		
支払利息	194	159
社債発行費	—	90
その他	168	198
営業外費用合計	362	447
経常利益	6,905	3,776
税金等調整前四半期純利益	6,905	3,776
法人税等	2,520	1,181
少数株主損益調整前四半期純利益	4,384	2,594
少数株主利益又は少数株主損失(△)	34	△54
四半期純利益	4,349	2,649

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,384	2,594
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△203	△271
繰延ヘッジ損益	84	0
為替換算調整勘定	54	△317
その他の包括利益合計	△63	△588
四半期包括利益	4,320	2,006
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,264	2,187
少数株主に係る四半期包括利益	56	△181

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) セグメント情報

## 【セグメント情報】

## Ⅰ 前第3四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	鋼板関連事業	機能材料 関連事業	その他事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	72,381	12,445	6,251	91,077	—	91,077
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,823	—	117	1,941	△1,941	—
計	74,204	12,445	6,369	93,019	△1,941	91,077
セグメント利益	4,275	1,733	870	6,879	9	6,889

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	鋼板関連事業	機能材料 関連事業	その他事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	67,401	13,452	6,305	87,159	—	87,159
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,680	—	87	1,767	△1,767	—
計	69,082	13,452	6,392	88,927	△1,767	87,159
セグメント利益	1,524	1,464	631	3,620	28	3,648

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。